



愛知県

まち・ひと・しごと 創生総合戦略

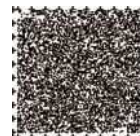
2023-2027

愛知県人口問題対策プラン



このコードは、音声コード
(Uni-Voice)です。専用の
読み上げ装置やスマート
フォンアプリ等で読み取る
と、記録されている情報を
音声で聞くことができます。

 愛知県



策定の経緯・目的

本県の地方創生については、2020年3月策定の第2期「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(計画期間:2020~2024年度)に基づき、全庁を挙げて取り組んできました。

こうした中、国が2022年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」(計画期間:2023~2027年度)を策定したことを踏まえ、本県は、第2期総合戦略を改訂し、**2023年10月16日に、新たな総合戦略である「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027」**を策定しました。

また、本県の人口は**2019年の約755万4千人をピークに3年連続で減少**し、2021年10月~2022年9月では名古屋市中核市を含む43市町村で減少するなど、人口減少地域は県内全域に広がっていることから、人口問題は、県内の一部の地域の問題ではなく、県全体に関わる重要な課題となっています。

以上を踏まえ、**今回策定した総合戦略を本県の「人口問題対策プラン」として位置づけ**、人口減少にできる限り歯止めをかけるとともに、人口減少下でも県内各地域が活力を維持し、すべての人が活躍でき、安心・快適に暮らせる社会の構築を目指していきます。



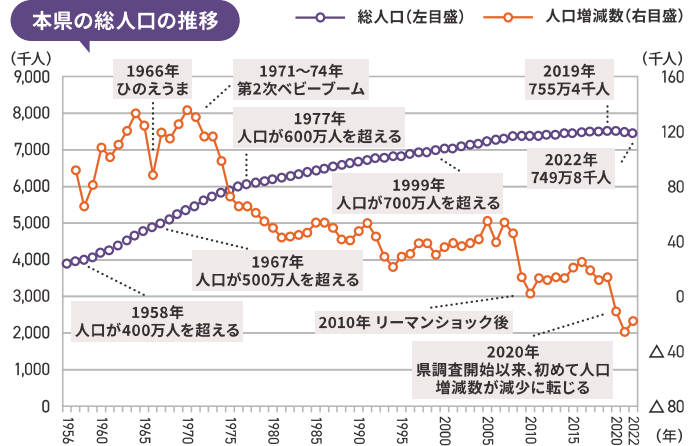
愛知県の人口動向



01 総人口、人口増減数の推移

愛知県の人口は、2019年10月1日時点の約755万4千人をピークに**3年連続の減少**となっており、2022年10月1日時点で約749万8千人となっています。2021年10月~2022年9月の1年間の人口増減数を市町村別に見ると、11市町で増加した一方、名古屋市中核市を含む43市町村で減少しており、**人口減少地域は県内全域に広がっています。**

本県の総人口の推移



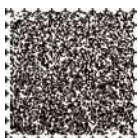
出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成



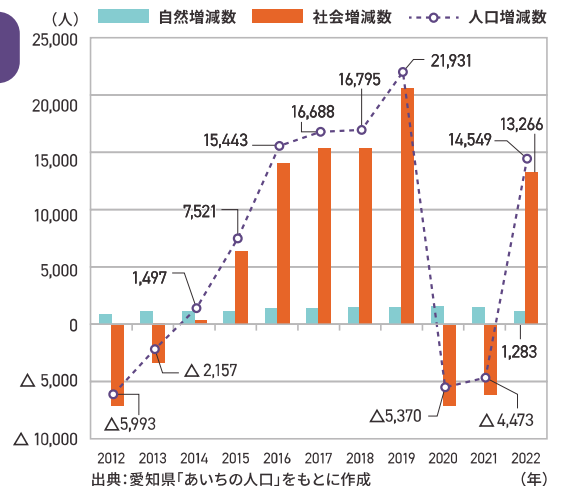
02 外国人の動向

外国人は、2018年10月~2019年9月の1年間で2万人を超える増加であったものの、その後の2年間は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制等により、それぞれ前年比で減少となりました。

入国規制の緩和等に伴い、**2021年10月~2022年9月の1年間は再び前年比で増加**に転じています。



愛知県の外国人人口増減数の推移



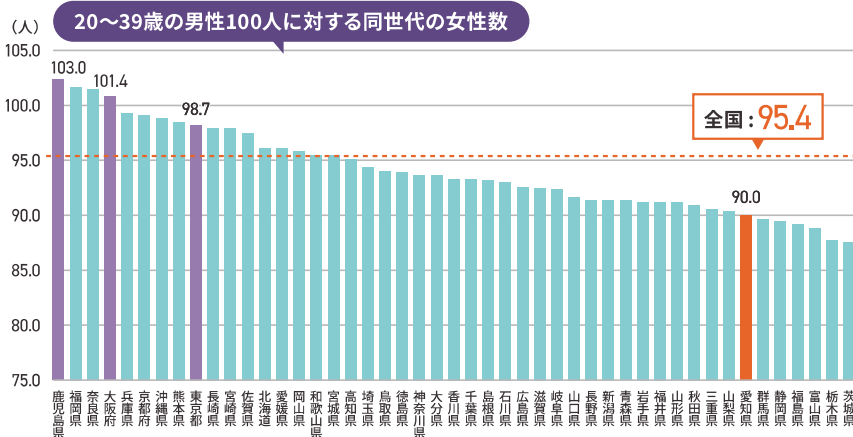
出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成





03 人口の男女比

2023年1月1日時点での20～39歳の男性100人に対する同世代の女性数は90.0人となっており、全国平均の95.4人と比べて低く、都道府県別では7番目に低い数値となっています。

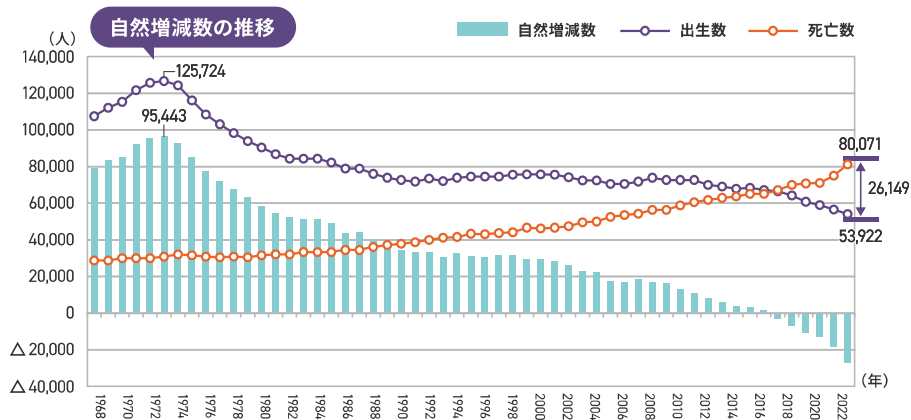


出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」をもとに作成



04 自然増減

愛知県の出生数と死亡数の年次推移を見ると、本県では、出生数は減少が続く一方、死亡数は大きく増加しているため、自然増減数の減少幅の拡大が続いています。2021年10月～2022年9月の1年間の自然増減数は26,149人の減少となっています。

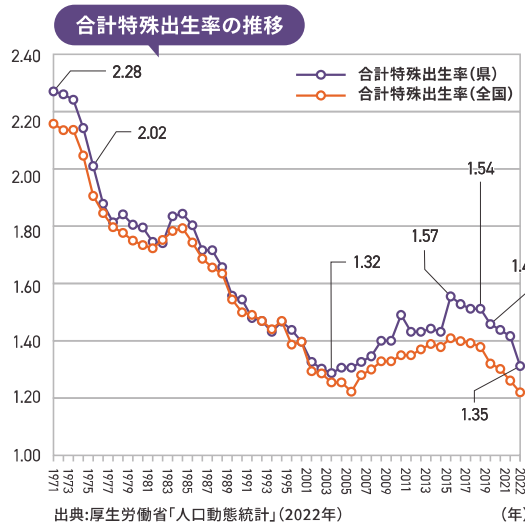


出典：愛知県「あいちの人口」をもとに作成



05 合計特殊出生率

愛知県の合計特殊出生率は2003年の1.32を底に緩やかな上昇傾向が続いていましたが、2015年を境に低下傾向となり、2022年は1.35となっています。全国で高い方から26番目ですが、大都市圏の中では高い水準となっています。



出典：厚生労働省「人口動態統計」(2022年)

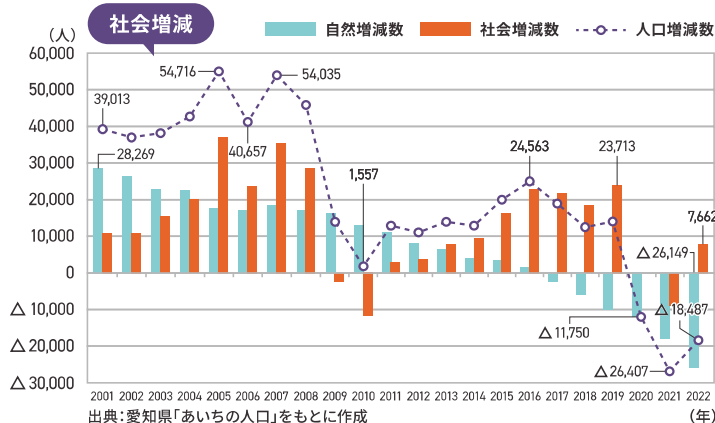
| 順位 | 都道府県名 | 合計特殊出生率 |
|----|-------|---------|
| 1 | 沖縄県 | 1.70 |
| 2 | 宮崎県 | 1.63 |
| 3 | 鳥取県 | 1.60 |
| 4 | 島根県 | 1.57 |
| 5 | 長崎県 | 1.57 |
| 6 | 鹿児島県 | 1.54 |
| 7 | 佐賀県 | 1.53 |
| 8 | 熊本県 | 1.52 |
| 9 | 福井県 | 1.50 |
| 10 | 大分県 | 1.49 |
| 26 | 愛知県 | 1.35 |
| 38 | 大阪府 | 1.22 |
| 39 | 岩手県 | 1.21 |
| 40 | 京都府 | 1.18 |
| 41 | 秋田県 | 1.18 |
| 42 | 千葉県 | 1.18 |
| 43 | 神奈川県 | 1.17 |
| 44 | 埼玉県 | 1.17 |
| 45 | 北海道 | 1.12 |
| 46 | 宮城県 | 1.09 |
| 47 | 東京都 | 1.04 |
| 全国 | | 1.26 |

…大都市圏

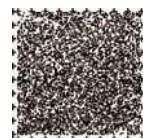


06 社会増減

愛知県の社会増減数は、経済環境や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2020年10月～2021年9月の1年間では11年ぶりにマイナスとなったが、2021年10月～2022年9月の1年間では7,662人の増とプラスに転じています。



出典：愛知県「あいちの人口」をもとに作成



基本的な考え方



人口減少局面に入ることは避けられないものの、人口減少にできる限り歯止めをかけ、人口減少下でも安心・快適に暮らせる社会を構築

デジタルの力を活用することなどにより、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、地域の持続的な発展を図ります。

日本一の産業県である本県の産業を支える人材を確保していくためには、性別・年齢・国籍・障害の有無に関わらず、すべての人が活躍する社会づくりを更に推進します。



若者の東京圏への流出を抑制するだけでなく東京圏から還流する取組を推進

大都市圏にありながら、通勤時間が短く、家賃など生活コストも比較的安価で、自然豊かな環境の中でゆとりある暮らしができるといった、東京圏にはない本県の魅力を引き続き発信していくことで、U・I・Jターンの更なる促進など、東京圏等からの人材の還流や定着を図ります。

新型コロナウイルスの感染拡大を契機としたテレワークの普及や地方移住への関心の高まりなどの変化を捉え、本県への新たな人の流れを創出します。



新たに地域編を設け、県内各地域の人口動向と課題等を整理し、今後の方向性や具体的施策を示し、地域活力を維持

県内各地域に、製造業、農林水産業、商業・サービス業など、あらゆる産業がバランス良く発展している強みを活かし、地域の雇用を創出します。

豊かな自然や歴史・伝統文化、レクリエーション施設など、多種多様な地域資源の魅力を県内外に発信し、活力ある地域づくりや将来的な移住者の拡大を図ります。

重視すべき視点

以下の4つの視点を重視して、施策の充実を図ります。

01 デジタルの活用

02 SDGsの重視

03 With/After コロナを見据えた取組の推進

04 多様な主体との連携・協働

基本目標と施策



4つの重視すべき視点を踏まえ、

●人口減少にできる限り歯止めをかける

●人口減少下でも県内各地域が活力を維持し、すべての人が活躍でき、安心・快適に暮らせる社会を構築する

の2つの方針の下に、7つの基本目標を設定し、具体的な施策・事業を提示

01 結婚・出産・子育て環境づくり

02 人の流れづくり

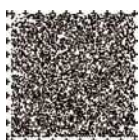
03 しごとづくり

04 魅力づくり

05 暮らしの安心を支える環境づくり

06 活力ある地域づくり

07 県全体のデジタル化の推進



基本目標

01

結婚・出産・子育て環境づくり

若者の就職・職場定着支援等により、経済的安定を図るとともに、結婚・出産・子育て支援の更なる充実や、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ることにより、若い世代が希望を持って働き、暮らし、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくります。



主な数値目標

若者(25~44歳)の完全失業者数

→ 若者の経済的安定

25,000人以下 (過去5年間の最低25,000人以下を維持)

※過去5年間(2018~2022年)の平均: 36,200人
※2022年: 35,000人

女性(25~44歳)の労働力率

→ 子育てをしながら働き続けられる環境の実現

78.8%以上 (過去5年間の平均値77.9%から0.9ポイント上昇)

※過去5年間(2018~2022年)の平均: 77.9%
※2022年: 79.8%



主な施策



- 出会いの場を創出する婚活イベントの実施
- 中小企業等の男性育児休業取得の促進
- 愛知県「休み方改革」プロジェクトの推進 等
- 妊娠・出産期からの切れ目ない支援の充実
- 妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施



モリコロパーク de 大規模婚活「パンフレット」



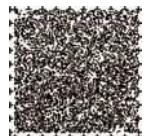
「休み方改革」のシンボル期間の「あいちウィーク」



男性育児休業取得促進セミナー・ワークショップの様子

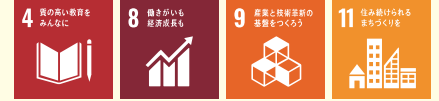


「愛知県『休み方改革』イニシアチブの推進に関する同意書」署名式



人の流れづくり

成長分野などの企業誘致や、大学の魅力づくりの取組により、チャレンジ精神を持った若者を引きつける魅力の向上を図るとともに、UIJターン希望者や留学生と県内企業とのマッチング支援、女子大学生等への女性活躍企業の魅力発信などにより、地元人材の定着や東京圏等からの人口流入・定着を促します。



数値目標

県外との転出入者数

➡ 愛知への人の流入

5年間で **70,000** 人の転入超

(若年層が減少する中で、過去20年の人口流入トレンドを継続)
※過去20年間(2003~2022年)の年平均: 13,572人

労働力人口の全国シェア

➡ 人の集積、交流拠点

6.2 % (過去5年間の平均6.1%を上回る)

※過去5年間(2018~2022年)の平均: 6.1%
※2022年: 6.2%(県426.9万人/全国6,902万人)



主な施策

- 関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進
- 女子大学生等への女性活躍企業の魅力発信
- 留学生向けのインターンシップやジョブフェアの実施 等
- 首都圏等における移住プロモーション活動の実施
- UIJターン希望者と県内企業のマッチング支援



東京都有楽町の移住フェアへの出展



女子大学生と「あいち女性輝きカンパニー」の交流会の様子



UIJターン希望者向け就職フェアへの出展



留学生地域定着・活躍促進事業
ジョブフェアの様子



しごとづくり

産業構造、人々の働き方、ライフスタイルが大きな変革期を迎える中で、時代の流れを力に変え、本県最大の強みであるモノづくり産業を始め、農林水産業を含めたあらゆる産業において、「産業首都あいち」として、競争力を高めるとともに、イノベーションによる新たな「しごと」の創出や、次代を担う人材の育成・確保を更に進めていきます。



主な数値目標

製造品出荷額等の全国シェア

➡ モノづくりの中核性

15%程度 (過去10年間の最高14.9%を上回り、全国1位を維持)

※過去10年間(2012~2021年)の平均: 14.6%
 ※2021年: 14.5%(県47兆8,946億円/全国330兆2,200億円)

就業者数

➡ 働く場の創出

年390万人程度を維持 (生産年齢人口が減少する中で、現状水準を維持)

※過去5年間(2018~2022年)の平均: 414万人
 ※2022年: 418万人



主な施策



- モビリティに関わる新たな技術・サービスへの対応
- 革新的技術の社会実装に向けた取組の加速化、航空宇宙産業の海外への販路拡大等の支援
- 外国人材の適正な受け入れや共生に向けた環境整備の推進
- 「STATION Ai」の整備・運営、国内外の大学・関係機関等と連携したスタートアップの育成・集積、起業の促進 等



自動運転車両



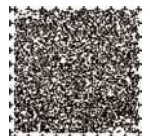
2022年度無人飛行
ロボット活用促進事業



あいち多文化共生センター



スタートアップ支援拠点
「STATION Ai」完成イメージ



基本目標

04

魅力づくり

「ジブリパーク」を始めとした新たな魅力の創造・発信や愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を核とした更なる国際交流の推進、「第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第5回アジアパラ競技大会」などのスポーツや伝統文化を生かした賑わいづくりなど、国内外から人を引きつける魅力ある地域をつくります。



主な数値目標

| | |
|--|--|
| <p>観光入込客数</p> <p>➡ 国内外からの集客</p> | <p>1億2千万人(2026年)</p> <p>(2019年水準への回復)</p> <p>※2019年：1億1,854万人、2022年：9,363万人</p> |
| <p>観光消費額</p> <p>➡ 観光による経済効果</p> | <p>1.1兆円(2026年)</p> <p>(観光消費額単価の引き上げに重点を置き、2019年水準を上回る)</p> <p>※2019年：8,599億円、2022年：6,997億円</p> |



主な施策



- 「ジブリパーク」整備の推進
- 愛知県国際展示場を活用した展示会産業の振興、MICEの誘致・開催に資する高級ホテルの立地促進、愛知県新体育館(愛知国際アリーナ)の整備・運営 等
- 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第5回アジアパラ競技大会の開催



© Studio Ghibli

ジブリパーク「ジブリの大倉庫」



第19回アジア競技大会(中国・杭州)閉会式の様子

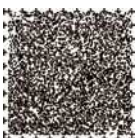


愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」



©2022 Aichi International Arena

愛知県新体育館(愛知国際アリーナ) 鳥瞰パース
※画像はイメージです。 ※デザインなどは変更になる場合があります。



暮らしの安心を支える環境づくり

「人生100年時代」と言われる中、医療・介護・福祉の充実に加えて、労働や地域活動への参加を促進することで、性別・年齢・国籍・障害の有無に関わらず、誰もが生涯にわたって活躍でき、能力を最大限に発揮できるような共生社会を実現します。



数値目標

健康寿命

➡ 健康に生きられる長寿社会

現状値(男72.85年、女76.09年)を上回る

(健康寿命と平均寿命の差の縮小を目指す)

※2019年：男72.85年(全国18位)、女76.09年(全国12位)

労働力率

➡ 全員活躍社会

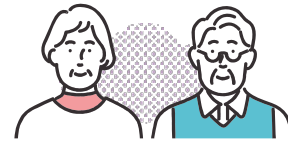
現状値(64.5%)を上回る

(高齢化に伴う低下傾向の中で、現状水準の向上を目指す)

※2004年：64.0%→2014年：62.7%→2022年：65.3%



主な施策



- 女性の活躍に向けた企業等の取組への支援や子育て女性の再就職支援をはじめとする女性の活躍促進
- 地域社会全体で外国人材を適正に受け入れ、能力を最大限に発揮できるような共生社会づくりの推進
- 「シルバー人材センター」の活用や「あいちシルバーカレッジ」の開講による高齢者の就労・社会参加の促進
- 企業と障害者のマッチングなどによる就労支援 等



ママ・ジョブ・あいち
カウンセリングの様子



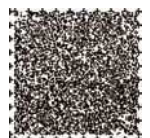
高齢者の社会参加促進
「あいちシルバーカレッジ」の授業風景



日本語教室の様子



障害者就職面接会の様子



基本目標

06

活力ある地域づくり

人口問題は県全体に関わる重要な課題と捉え、地域資源を生かした魅力の発信等により関係人口を創出・拡大し、活力ある地域づくりの促進を図る取組を行います。また、経済・社会・環境が調和した持続可能な地域の実現に向けて、SDGsの理念を踏まえた様々な取組を進めます。



数値目標

1人当たり県民所得

➡ 所得の向上

全国平均(1人当たり国民所得)を **25%** 上回る (過去5年間の最高22.7%を上回る)
※過去5年間(2016~2020年度)の平均: 国を19.3%上回る。東京都に次ぐ第2位
※2020年度: 国を15.2%上回る(県3,428千円、全国2,975千円)

三河山間地域及び離島の観光客数

➡ 交流人口・関係人口の拡大

【三河山間地域】 **660** 万人 (コロナ禍で減少傾向にある中、コロナ禍前の水準を回復・維持)
※2018年度(コロナ禍前): 660万人、2022年度: 653万人
【離島】 **52万8** 千人 (コロナ禍で減少傾向にある中、コロナ禍前の水準を回復・維持)
※2018年度(コロナ禍前): 52万8千人、2022年度: 42万7千人



主な施策



- 三河山間地域及び離島における関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進
- 持続可能なエネルギー社会の構築や生物多様性保全、循環型社会の形成に向けた取組の推進
- SDGsの普及啓発、「愛知県SDGs登録制度」の運用、SDGsを普及・浸透していくためのイベントの開催 等



東三河のサイクリングの様子 (スポーツツーリズム)



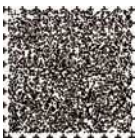
あいちの山里&離島の魅力PR (ふるさと回帰フェアへの出展)



三河の山里サポートデスク 起業家支援セミナーの様子



あいちSDGsアンバサダー



基本目標

07

県全体のデジタル化の推進

県全体の活性化を促進するため、経済・社会に密接に関係する様々な分野において、デジタルの力を活用して社会課題の解決や魅力向上を図り、どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会をつくります。



数値目標

デジタル人材育成研修受講者数
(累計)

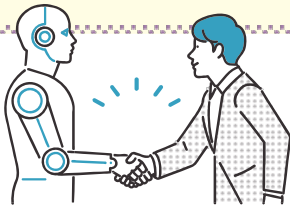
7,600人 (毎年度1,520人のデジタル人材の育成を目指す)

※2022年度：1,599人

授業中にICTを活用して
指導できる教員の割合

100% (個別最適な学びと協働的な学びの実現のために必要)

※2023年3月1日時点：73.5%



主な施策



- スーパーシティ化に向けた取組や自動運転・MaaS等新たなモビリティサービスの普及促進に向けた実証実験の実施・支援、あいちデジタルアイランドプロジェクトの推進
- ロボット技術やICT等の先端技術等を活用した「スマート農業」や「スマート林業」の推進
- 「STATION Ai」の整備・運営などによる地方創生スタートアップの創出
- 各地域の特性や強みを活かした「STATION Ai パートナー拠点」の設立の促進
- 「愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点」の運営による、中小企業のデジタル人材の確保の支援
- モノづくり現場やビジネス分野におけるデジタル人材の育成
- 高齢者向けのスマホ講座へのサポーター派遣
- 県全体でのデジタル・ガバメントの実現を目指し、市町村のデジタル化を支援
- 観光デジタル人材の育成・活用 等



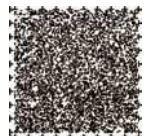
あいちデジタルアイランドプロジェクト
アバターロボットを活用した実証実験



ドローンによる苗木運搬



デジタル人材育成研修の様子



地域別の人口動向・課題・今後の方向性



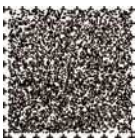
県内各地域において、それぞれの特徴や課題に応じた取組を進めていくため、地域編では、地域別の人口動向、地域の特徴と課題、地域における今後の方向性を整理しました。

地域区分の考え方

第2期「愛知県人口ビジョン」における地域ブロックに準拠し、以下の6ブロックに区分しています。



| | |
|------------|--|
| 名古屋地域 | 名古屋市 |
| 尾張北東部地域 | 瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町、大口町、扶桑町 |
| 尾張中西部・海部地域 | 一宮市、稲沢市、清須市、北名古屋市、豊山町、津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村 |
| 知多地域 | 半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町 |
| 西三河地域 | 岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町 |
| 東三河地域 | 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村 |

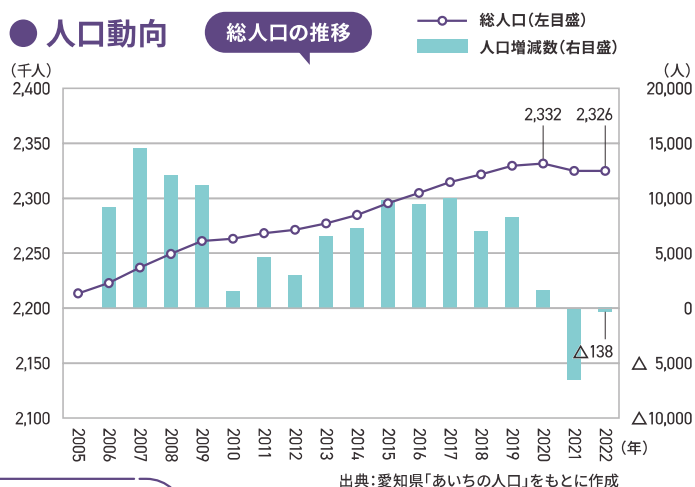


名古屋地域

● 地域の特徴・課題

- ・中部圏の中核都市として、産業、経済、文化など様々な分野において高い求心力を有する地域です
- ・本県の強みであるモノづくり産業に加えて、大都市ならではの商業・サービス業が集積しています
- ・2021年から2年間連続で人口が減少しており、20歳代を中心として、東京圏に対して多数の転出超過が続いています
- ・若年層の社会増が続く一方で、子育て世帯を中心に近隣の市町村への転出傾向が見受けられています

● 人口動向



今後の方向性

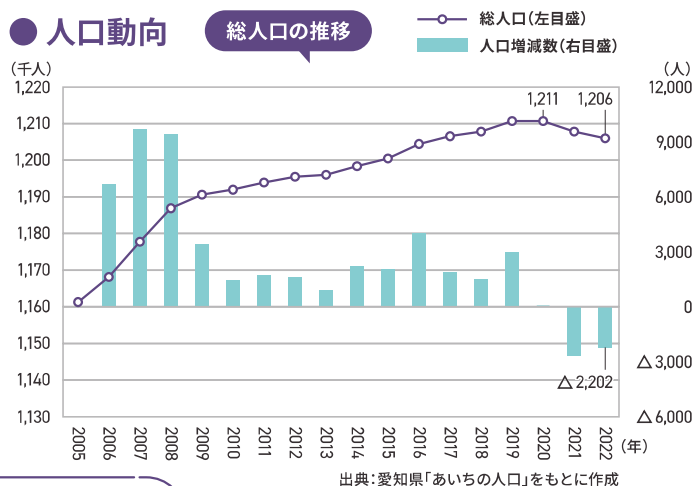
- 名古屋駅のスーパーターミナル化や、都心の立地条件を生かした本県産業拠点や都市型産業の育成、大規模スポーツ大会の開催、文化芸術の創造・発信等により、生み出される活力を中京大都市圏全体に波及させていきます
- 結婚・出産・子育て支援や医療・介護・福祉の充実、多文化共生施策の推進等により、安心・快適に暮らせるまちづくりを進めていきます

尾張北東部地域

● 地域の特徴・課題

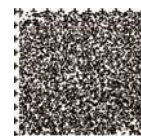
- ・多くの大学や研究機関が集積しており、陶磁器産業や工作機械、航空宇宙産業など、多様な産業が集積する地域です
- ・歴史や陶磁文化、文化・レクリエーション施設などの特色ある地域資源を有しています
- ・13市町のうち7市町において、直近3年間連続で人口減少が続いています
- ・名古屋市周辺の一部では、子育て世帯を中心に転入が見受けられるものの、地域全体としては2021年から2年間連続で人口が減少しており、高齢化も進行しています

● 人口動向



今後の方向性

- 大学・研究機関や多様な産業の集積、特色ある歴史・文化や地域資源を活かして、研究開発機能の強化や次世代産業の振興、「ジブリパーク」を始めとする地域資源を活用した魅力の創造・発信等を推進します
- 結婚・出産・子育て支援や医療・介護・福祉の充実、多文化共生施策の推進等により、安心・快適に暮らせるまちづくりを進めていきます

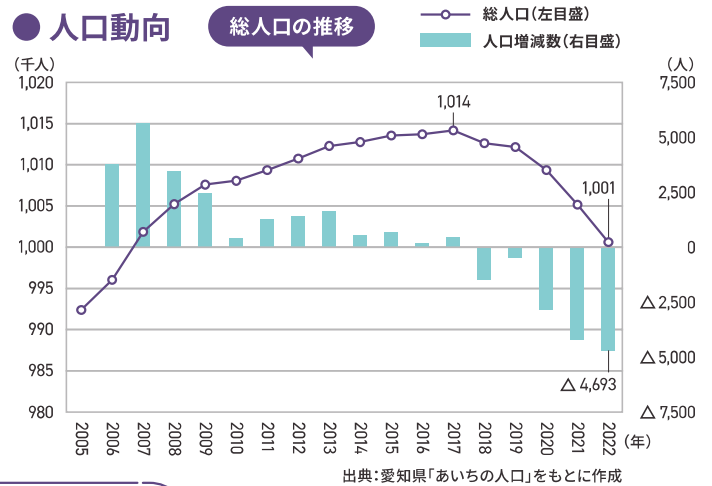


尾張中西部・海部地域

● 地域の特徴・課題

- ・ 県営名古屋空港周辺や臨海部には航空宇宙産業が集積し、県内有数の農業地帯を有するほか、神社・仏閣や伝統的な行催事、伝統工芸品等の特色ある歴史・文化を有する地域です
- ・ 海部地域を中心として、わが国最大のゼロメートル地帯を有しており、起伏が少ないという地域特性があります
- ・ 12市町村のうち8市町村(尾張中西部2市・海部6市町村)において、直近3年間連続で人口減少が続いています
- ・ 名古屋市周辺の一部では、子育て世帯を中心に転入が見受けられるものの、地域全体としては2018年から5年間連続で人口が減少しており、高齢化も進行しています

● 人口動向



今後の方向性

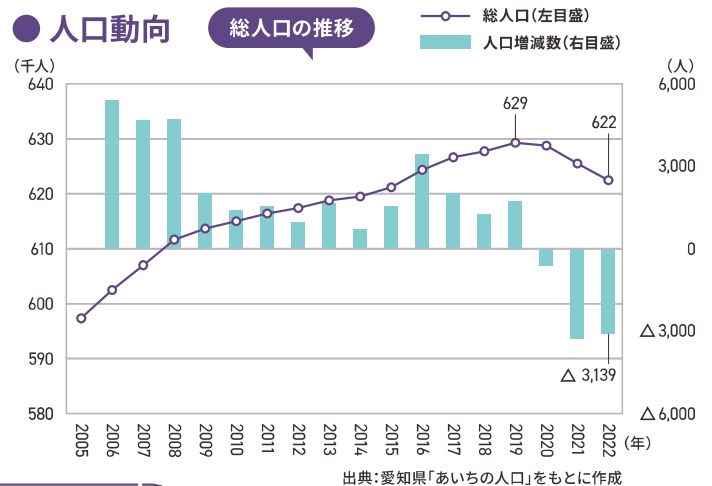
- 農工業の集積や、特色ある歴史・伝統文化を活かし、航空宇宙産業などの次世代産業を始め、地場産業、農林水産業の振興や、地域の魅力の創造・発信等を推進します
- 結婚・出産・子育て支援や医療・介護・福祉の充実、多文化共生施策の推進のほか、広域的な防災活動拠点の整備・運用等により、安全で安心・快適に暮らせるまちづくりを進めていきます

知多地域

● 地域の特徴・課題

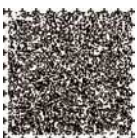
- ・ 臨海工業地帯を有するほか、陶磁器産業や農業・水産業、観光業など多様な産業が盛んな地域です
- ・ 中部国際空港を擁する中部圏の空の玄関口であることを活かして、国際観光の拠点となっていくことが期待されているほか、豊かな自然や地場産業を活かした観光資源を有しています
- ・ 10市町のうち5市町において、直近3年間連続で人口減少が続いています
- ・ 名古屋市や西三河地域への交通利便性が高い一部地域では、子育て世帯を中心に転入が見受けられるものの、地域全体としては2020年から3年間連続で人口が減少しており、高齢化も進行しています

● 人口動向



今後の方向性

- 国際交流拠点としての都市機能の向上や、あいち健康の森周辺での健康長寿関連施設の活用、多様な産業の育成・強化、知多半島の観光圏としての魅力の創造・発信等を推進します
- 結婚・出産・子育て支援や医療・介護・福祉の充実、多文化共生施策の推進等により、安心・快適に暮らせるまちづくりを進めていくとともに、知多半島ならではの関係人口の創出・拡大や移住・定住を促進していきます



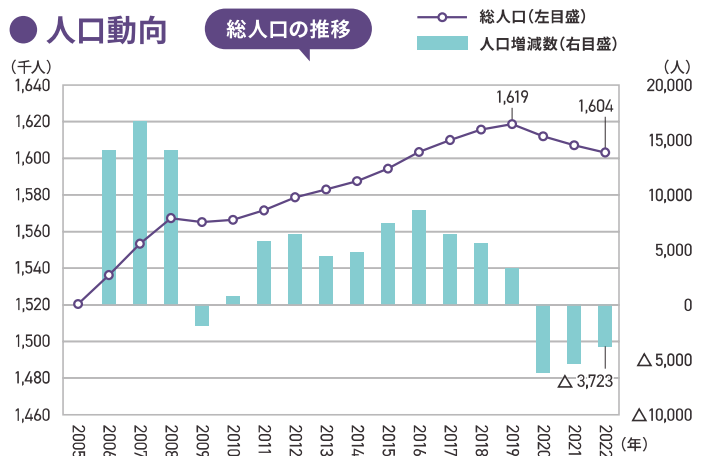
西三河地域

● 地域の特徴・課題

- 自動車関連の企業が多く立地するなど、世界的な自動車産業の拠点であり、モノづくり愛知をけん引する地域です
- 豊かな森林や矢作川流域に広がる平野、三河湾の海洋資源を有しており、農林水産業も活発であるほか、産業観光資源や文化的資源等の地域資源も豊富に存在しています
- 地域全体としては2020年から3年間連続で人口が減少しており、10市町のうち5市において、直近3年間連続で人口減少が続いています
- 他県からの転入も見受けられるものの、山間・離島地域を中心に人口減少・高齢化が進んでおり、また、総人口に占める外国人の割合が高い傾向にあります

● 人口動向

総人口の推移



出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成

今後の方向性

- モノづくりの中核性を高めるための研究開発機能の集積や次世代産業の育成、農林水産業の振興、さらには地域の資源を活かした魅力の創造・発信等を推進します
- 結婚・出産・子育て支援や医療・介護・福祉の充実、多文化共生施策の推進のほか、三河山間地域における生活交通の確保等の暮らしを支える環境整備等により、安心・快適に暮らせるまちづくりを進めていくとともに、関係人口の創出・拡大や移住・定住を促進していきます

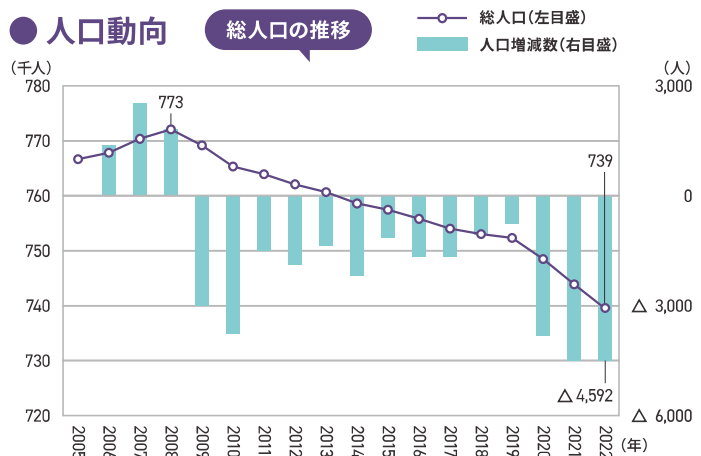
東三河地域

● 地域の特徴・課題

- 豊かな自然環境を背景に、豊川流域圏として、社会的・経済的に高い一体性を有する地域です
- 自動車関連産業を中心に製造業が集積しているほか、全国でも有数の農業地帯を有しており、豊かな自然環境、歴史や文化、伝統に培われた地域資源も豊富に存在しています
- 地域全体としては2009年から14年間連続で人口が減少しており、8市町村のうち7市町村において、直近3年間連続で人口減少が続いています
- 若年世代の転出超過が続き、山間・半島地域を中心に県内では先行して人口減少・高齢化が進行しており、また、平野部を中心に総人口に占める外国人の割合が高い傾向にあります

● 人口動向

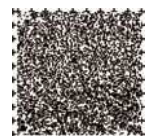
総人口の推移



出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成

今後の方向性

- 「東三河県庁」を中心に、市町村や経済団体、大学等との連携を深め、次世代産業や農林水産業を始めとした多様な産業・雇用の創出、豊かな地域資源を生かした魅力の創造・発信等を推進します
- 移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、結婚・出産・子育て支援や医療・介護・福祉の充実、多文化共生施策の推進のほか、三河山間地域における生活交通の確保等の暮らしを支える環境整備等により、安心・快適に暮らせるまちづくりを進めていきます



総合戦略の推進に当たって

01 多様な主体との連携

総合戦略の推進に当たっては、市町村を始め、産業界、国の関係機関、教育機関、金融機関、労働団体、報道機関、NPOなど、様々な主体と連携・協力し、人口ビジョンで示した目指すべき方向や将来展望を共有しながら、地域一体となって施策・事業を推進していきます。

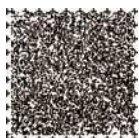
東京圏への一極集中にストップをかけていくためには、中京大都市圏、さらには中部圏といった広域エリアが一体となって、強みを発揮していくことが必要なことから、様々な分野において近隣県等との連携強化を図っていきます。

02 国の制度・施策の活用

総合戦略の推進に当たり、国は、財政面、情報面、人的な面から、地方自治体への様々な支援策を講じていくとしており、そうした国の支援策を最大限活用し、効果的な施策・事業の推進を図っていきます。

03 総合戦略の進行管理

有識者等からなる検証組織により、毎年度、施策・事業の進捗状況や数値目標、重要業績評価指標(KPI)の達成状況についての検証を行いながら、必要に応じて施策・事業を見直すなど、PDCAサイクルによる進行管理を行っていきます。



愛知県政策企画局企画調整部地方創生課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
【電話】052-954-6093